



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 ラサ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂尾 耕作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3278-3892
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,524	9.2	611	68.4	594	64.5	440	71.3
2020年3月期第1四半期	6,888	△3.8	363	△37.5	361	△40.4	257	△50.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 427百万円 (93.0%) 2020年3月期第1四半期 221百万円 (△49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	55.57	—
2020年3月期第1四半期	32.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,261	15,858	42.4
2020年3月期	37,563	15,748	41.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,803百万円 2020年3月期 15,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,200	0.1	900	3.1	850	1.9	600	△1.2	75.70
通期	31,000	4.2	1,900	1.5	1,800	4.3	1,300	△5.6	164.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,944,203株	2020年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	18,557株	2020年3月期	18,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,925,680株	2020年3月期1Q	7,925,961株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響から個人消費の低迷や、企業収益の急激な落ち込みなどがあり、景気は大幅に悪化致しました。海外においても感染症拡大が継続しており、また、米中貿易摩擦の影響も加わり、景気の先行きは非常に厳しい状況が見込まれております。

このような環境のなかで、当社グループは中期経営計画の最終年度を迎え、引き続き「事業基盤の更なる安定と強化」を目指すことを基本方針として、収益力の向上、持続的成長に向けた新規事業の育成、財務体質の更なる強化に努め、業績の向上と収益の確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高75億24百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益6億11百万円（前年同期比68.4%増）、経常利益5億94百万円（前年同期比64.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億40百万円（前年同期比71.3%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

① 化成事業

燐酸などの燐系製品につきましては、電子工業向け高純度品は、半導体向けが好調に推移し増収となりました。一般品及び二次塩類等は、関連業界の低迷により減収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、水処理用は浄水場向けが低調に推移し、エッチング用途向けも低迷しました。

コンデンサー向け原料は、顧客の在庫調整の影響により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、56億31百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は、5億20百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

② 機械事業

破砕関連機械につきましては、本体販売が新型コロナウイルス感染症の影響による納期遅れなどで、減収となりましたが、プラントの販売は増収となりました。消耗部品販売は堅調に推移致しましたが、鋳鋼品は大幅な減収となりました。

下水道関連の掘進機は、本体販売が海外向けで増収となり、レンタル物件も堅調に推移しました。

精密機械加工は、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11億55百万円（前年同期比34.6%増）、セグメント利益は、54百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

③ 電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、ガリウム、インジウム、酸化ホウ素は増収となり堅調に推移しましたが、赤燐は減収となりました。また、高純度ホウ酸は大幅な増収となりました。なお、在庫評価の益要因もあり大幅な増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、4億62百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は、92百万円（前年同期比873.2%増）となりました。

④ その他

石油精製用触媒の再生事業は、増収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、2億75百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は、1億85百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて1億34百万円減少し、165億38百万円となりました。この主な増減理由としては、受取手形及び売掛金が2億5百万円減少した一方、現金及び預金が78百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1億67百万円減少したことにより、207億23百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の減少2億33百万円などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億12百万円減少し、214億2百万円となりました。この主な増減理由としては、流動負債その他（主に未払金）が8億58百万円減少した一方、短期借入金及び長期借入金が合わせて3億54百万円増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を4億40百万円計上した一方、配当金の支払により3億17百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて1億10百万円増加し158億58百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は372億61百万円となり、自己資本比率は42.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日公表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,737	4,815
受取手形及び売掛金	8,159	7,954
商品及び製品	1,771	1,860
仕掛品	809	664
原材料及び貯蔵品	928	989
その他	265	253
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,672	16,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,311	4,289
機械装置及び運搬具(純額)	4,736	4,527
工具、器具及び備品(純額)	582	567
土地	6,922	6,922
建設仮勘定	1,000	1,019
その他(純額)	97	91
有形固定資産合計	17,651	17,417
無形固定資産	37	35
投資その他の資産		
投資有価証券	1,498	1,557
その他	1,714	1,722
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,202	3,270
固定資産合計	20,890	20,723
資産合計	37,563	37,261

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,803	3,745
短期借入金	5,333	6,322
未払法人税等	204	240
賞与引当金	335	496
その他	2,387	1,529
流動負債合計	12,064	12,333
固定負債		
長期借入金	6,257	5,623
退職給付に係る負債	3,111	3,064
環境対策引当金	19	20
その他	363	361
固定負債合計	9,751	9,069
負債合計	21,815	21,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	7,659	7,782
自己株式	△42	△42
株主資本合計	16,059	16,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	44
為替換算調整勘定	33	△34
退職給付に係る調整累計額	△397	△390
その他の包括利益累計額合計	△364	△379
非支配株主持分	53	55
純資産合計	15,748	15,858
負債純資産合計	37,563	37,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,888	7,524
売上原価	5,436	5,853
売上総利益	1,451	1,671
販売費及び一般管理費	1,088	1,059
営業利益	363	611
営業外収益		
受取配当金	16	17
受取地代家賃	8	9
持分法による投資利益	59	38
その他	9	9
営業外収益合計	94	74
営業外費用		
支払利息	50	45
休止鉱山鉱害対策費用	18	22
その他	27	23
営業外費用合計	96	91
経常利益	361	594
税金等調整前四半期純利益	361	594
法人税、住民税及び事業税	87	178
法人税等調整額	15	△27
法人税等合計	103	150
四半期純利益	257	443
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	257	440

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	257	443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	45
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	△4	△24
退職給付に係る調整額	11	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△44
その他の包括利益合計	△36	△15
四半期包括利益	221	427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220	425
非支配株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,386	858	382	6,627	261	6,888	—	6,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3	8	11	△11	—
計	5,389	858	382	6,630	269	6,900	△11	6,888
セグメント利益	365	54	9	429	172	602	△239	363

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△239百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△239百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,631	1,155	462	7,249	275	7,524	—	7,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	—	1	8	10	△10	—
計	5,632	1,155	462	7,251	283	7,534	△10	7,524
セグメント利益	520	54	92	667	185	853	△241	611

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△241百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△241百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。